

社会系(地理歴史)カリキュラム デザイン論発表

批判的教科書活用論に基づく中学校社会科授業開発(1):
「産業革命と欧米諸国」の場合

発表担当：5班(ごはんですよ)

論文の構成

論文の構成

- ▶ I. 問題の所在：教養主義の授業づくりでは、国家・社会の形成者は育成できない
→批判的教科書活用論に基づく授業を開発
- ▶ II. 「産業革命と欧米諸国」の教授計画書と実験授業の実際
- ▶ III. 「産業革命と欧米諸国」に関する意識調査の計画と結果
- ▶ IV. 研究の成果と課題

問題の所在

問題の所在

学習内容

社会科教育の現状

- ・ 教養主義に基づいている
- ・ 教科書記述を絶対的真理として学習させる授業になりがち
- ・ 国家・社会の形成者は育成できない
- ・ 国家・社会の順応者を育成している

克服

批判的教科書活用論による克服

- ・ 教科書の記述は多様な解釈の一つにすぎない
- ・ 社会の現実を生産・変革する政治的实践である
- ・ 教科書記述は絶対的真理ではない

批判的教科書活用論は教科書の記述を事実そのものではなく作品として扱うことによって国家・社会の形成者を育成する社会科授業作りの方法である

授業作りの手順

見開きのタイトルと見出し、見出しと見出しの
関係を分析し、執筆者の解釈を推測

見開きに掲載されている資料について問いを作り、
答えを調べ、推測した執筆者の解釈を確認

推測した解釈に基づいて学習課題とその解答を準備し、
授業目標を仮説

子どもの学習履歴や発達段階に照ら合わせることで
適切かどうか等を検討し、授業目標を設定

授業の主な発問と答えを作って 授業のアウトラインを構想

授業展開の詳細を示した教授計画書の作成

実験授業の概要

「産業革命と欧米諸国」の実験授業

(1) 教授計画書の実際

▶ P78の図1を参照して下さい

タイトル：「産業革命と欧米諸国」

小見出し：「産業革命」

・ イギリスで始まった産業革命の様子

小見出し：「資本主義の社会」と
「19世紀の欧米諸国」

・ 産業革命が資本主義という社会の
仕組みを生み出し、欧米諸国の様
々な変化を引き起こした

執筆者の歴史解釈を以上のように推測

「産業革命と欧米諸国」の実験授業

→教科書に記述された産業革命の影響は執筆者の解釈に過ぎない相対的真理であることを理解させる

導入

- 教科書が考える学習課題の回答を生徒に**予想**させる段階
- 「産業革命によってどのような変化が起きたらだろうか」という学習課題を設定し、回答を生徒に予想させ、本時の目当てを意識させる

展開1

- 教科書が考える学習課題の回答を生徒に**探求**させる段階
- 生徒が予想すると考えられる産業革命の影響について：資本主義の仕組み、社会主義という考えの誕生の理解

展開2

- 生徒が予想しないと考えられる産業革命の影響について：南北戦争、ドイツの統一を例に
- 展開1と2を通して、生徒が予想した学習課題の回答を確認・修正し、産業革命が引き起こした影響を具体的に理解させ、教科書の想定する解答の全体像を把握させる

終結

- 教科書が考える学習課題の回答を生徒に**吟味**させ、教科書記述のみで十分か検討させる
- Aパターン：産業革命が戦争の近代化を促進→教科書に記述すべき？
- Bパターン：産業革命が時刻表や標準時を生み出す契機になった→教科書に記述すべき？

「産業革命と欧米諸国」の実験授業

(2) 実験授業の実際

導入

- 学習課題：「産業革命によってどのような変化が起こっただろうか」→生徒の予想：「産業が発達した」「貧富の差の拡大」...
- 産業革命がドイツやアメリカに影響を与えたことを予想した生徒はいない

展開1

- 「資本主義」という語句の意味を具体的に理解させる
- Q「労働災害とはどんなことを指すのか」→調べて発表

展開2

- 生徒が「導入」で予想しなかった変化について：南北戦争、ドイツの統一...
- アメリカ南部で綿花を生産：地理分野との結びつき

終結

- 学習課題に対する回答を説明
- Bパターン：産業革命が時刻表や標準時を生み出す契機になった→教科書に記述すべき？ワークシートに書かせる

感想：「教科書だけがすべてではないことを学んだ」

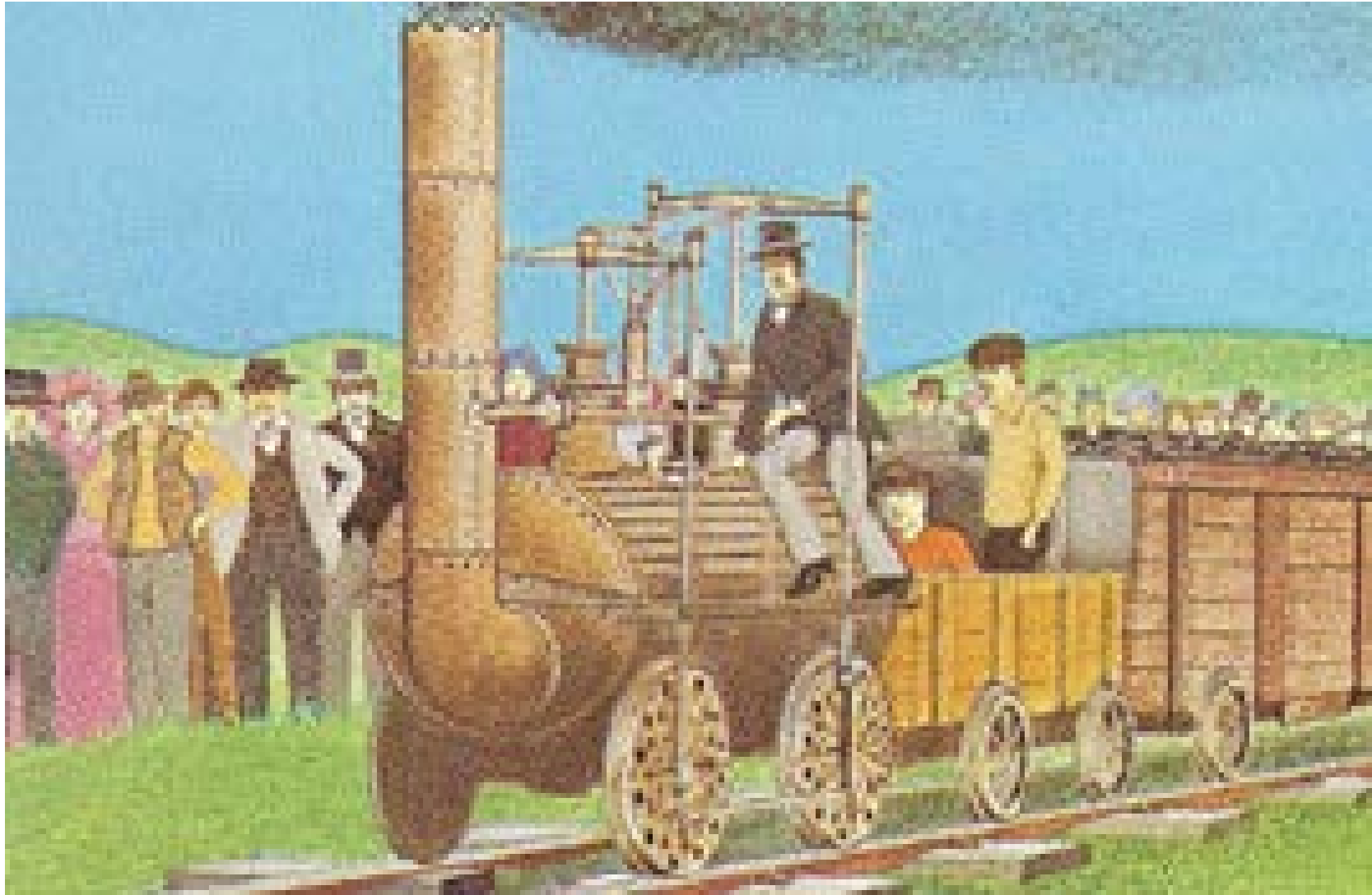


教科書を「作品」として捉える視点の芽生え

実際にやってみよう!



https://www.google.co.jp/url?sa=i&rct=j&q=&esrc=s&source=images&cd=&cad=rja&uact=8&ved=0ahUKEwi5rYGTIMjNAhWljZQKHWx_C28QjB0IBg&url=http%3A%2F%2Fmatome.naver.jp%2Fodai%2F2140322269620775501&psig=AFQjCNG75fIRi5y3LUeynLpCYjqwRoPU2w&ust=1467115173569937



https://www.google.co.jp/url?sa=i&rct=j&q=&esrc=s&source=images&cd=&cad=rja&uact=8&ved=0ahUKEwiH1MOIk8jNAhUEGZQKHcGsBr4QjB0IBg&url=http%3A%2F%2Fwww.izumis-hobo.co.jp%2Fonlinebook%2Fc02_denki%2Fstebnson%2Fstebnson5.html&psig=AFQjCNGvwLGf_uT9QI5tor2TAL_8DqJXAQ&ust=1467114961747608

実験授業に関する 意識調査の計画と結果

「産業革命と欧米諸国」に関する意識調査の計画と結果

(1) 仮説の設定

好き嫌い 予習の程度	教科書嫌い	教科書好き
予習しない	効果なし	効果あり
予習する	効果あり	効果大きい

批判的教科書活用論の授業作りは...

仮説1：教科書嫌いの生徒よりも教科書好きの生徒に効果がある

仮説2：あまり予習しない生徒よりもしっかりと予習する生徒に効果がある

「産業革命と欧米諸国」に関する意識調査の計画と結果

(2) 仮説の検証：仮説1について

好き嫌い		教科書が非常に好きである	教科書がどちらかといえば好きである	教科書がどちらかといえば好きではない
選択				
1. 授業は面白かったですか	アイ	80.6%	80.3%	84.6%
2. 授業は分かりましたか	アイ	86.1%	87.3%	80.7%
3. 教科書に対する考え方やイメージは変化しましたか	アイ	66.7%	56.4%	61.5%



「教科書がどちらかといえば好きではない」の結果

1. 最も高い値
2. 極端に低いとも言えない
3. 「教科書が非常に好きである」に次ぐ値

「産業革命と欧米諸国」に関する意識調査の計画と結果

(2) 仮説の検証：仮説1について

仮説に反する
なぜ？

表からわかること

教科書の好き嫌いに関係なく、多くの生徒に効果があったことがわかる

網羅的教科書文章観から
選択的教科書文章観へ

- ・「教科書に載っていないこと」を考えることで、教科書に対する見方やイメージが変化した
- ・教科書の文章が歴史の事実を網羅して書かれたものではなく、ある一定の意図の下で選択されていることに気付いている

装飾的教科書資料観から
実用的教科書資料観へ

- ・「資料を見ることで分かることもある」ことに気付く
- ・教科書の掲載資料は本文を彩る装飾品ではなく、そこから多くのことを学ぶことができる実用品であることに気付いている

羅列的教科書紙面観から
調和的教科書紙面観へ

- ・教科書のつながりや出来事間の関連が分かるようになった
- ・教科書の紙面は網羅的に構成されているのではなく、文章と文章が関連するように、本文と資料が連動するように調和的に構成されていることに気付いている

「産業革命と欧米諸国」に関する意識調査の計画と結果

(2) 仮説の検証：仮説2について

仮説2→**検証できなかった**

→ 実験授業前に実施した意識調査の結果に基づいて、あまり予習しない生徒としっかりと予習する生徒を分類できなかったからである

「タイトル名や見出し名の意味を考える」という選択肢

具体的には

予習する生徒だけでなく、しない生徒も選んでいた

「意味を考える」が曖昧・・・執筆者の意図を考える、国語辞書を引く

研究の成果と課題

成果

- 批判的教科書活用論が①網羅的教科書文章観、②装飾的教科書資料観、③羅列的教科書紙面観の变革に役立つ理論であることが明らかになったこと⇒事実的教科書観から作品的教科書観へのスムーズな移行へ

課題

- 仮説2を検証できなかったこと

キーセンテンス

- ・我が国の社会科は、教養主義に基づいているため、教科書記述を誰に対しても中立で公平な絶対的真理として学習させる授業が作られやすい。(p77)
- ・なぜなら、一著作物に過ぎない教科書記述を中立公平な絶対的真理として教えることは、権威や常識に盲従する国家・社会の順応者を育成してしまうからである。(p77)
- ・教養主義の授業作りでは、国家・社会の順応者は育成できても国家・社会の形成者は育成できないわけである。(p77)
- ・批判的教科書活用論は、教科書の記述を事実そのものではなく作品として扱うことによって国家・社会の形成者を育成する社会科授業作りの方法なのである。(p77)
- ・しかし、この予想に反して批判的教科書活用論は、教科書の好き嫌いに関係なく、多くの生徒に効果があったことが表5の集計結果から読み取ることができるわけである。(p86)
- ・本研究の成果は、批判的教科書活用論が①網羅的教科書文章観、②装飾的教科書資料観、③羅列的教科書紙面観の変革に役立つ理論であることが明らかになった点である。(p88)
- ・本研究の課題は、第2の仮説を検証できなかったことである。(p88)